

近畿地区唯一のNASVA委託病床

〈自動車事故による重度後遺障害者のための治療施設〉



■ NASVA委託病床とは・・・

NASVA委託病床は、独立行政法人自動車事故対策機構の委託により運営する病床で、自動車事故による脳損傷で重度の後遺障害が残り、治療と常時の介護を必要とする患者さんを対象に、適切な治療と看護を提供する病床です。

現在、NASVAでは遷延性意識障害者専門の療護センターを国内4カ所、療護センターに準じた専門的な治療・看護を行う療護施設機能委託病床（NASVA委託病床）を国内7カ所に設置・運営しています。

■ 泉大津市立病院では・・・

2013年1月より泉大津市立病院にNASVA委託病床を運営しています。近畿地区では唯一の委託病床であり、同地区でこれまで入院治療を受けたくても受けられなかった患者さんを積極的に受け入れ、一日も早い社会復帰の可能性を追求しながら、最良の治療と看護を提供していきます。

入院の受付は随時行っています。お問い合わせをお待ちしております。

問い合わせ窓口：地域医療連携室 TEL 0725-32-5622(代)

NASVA委託病床 NASVA Entrust Bed

自動車事故による脳損傷の重度後遺障害者を抱える患者さんのご家族を支えるために、 万全の体制を整えています。

NASVA委託病床サポート体制

質の高いチーム医療の実践



国内トップクラスの256スライスCTやMRIなど高度医療機器を用いて脳機能の評価を行い、綿密な治療計画を立てます。その上で、医師を中心に看護師、管理栄養士、薬剤師等が常に情報を共有し、合併症管理にも気を配り、患者さんの療養生活をチームで支えています。

リハビリテーションの充実



患者さんの状態に合わせて、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が専門的にアプローチします。関節や筋肉の拘縮の改善、座位姿勢の保持などを目指し、無理のないプログラムでトレーニングを継続し、残存する機能の維持とさらなる拡大を図っていきます。

看護体制



当院では、NASVAが推奨している看護方式、プライマリーナーシングに、固定チームナーシングの強みを加えた看護を提供しています。日常生活で話しかけたり、体に触れるなど多くの刺激をあたえて意識回復を目指しています。

療養環境



家庭的で温かみのある環境を目指しています。誕生日会、クリスマス会、運動会と季節を感じられる行事を開催しています。